

【6】山手地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい山手のまちにするために、地域の皆さんや山手小学校・花園中学校に通う子どもたちが、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

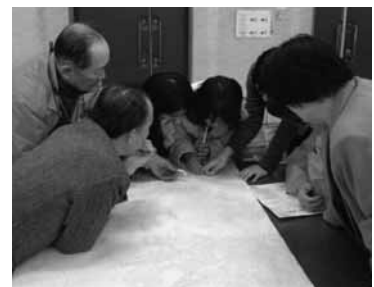
～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成20年2月23日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは山手地区にちなんだクイズや、大きな地区の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う山手地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 名切公園や中央公園の美しさ
- 交通機関が充実している
- 町内活動が活発で行事にも参加してくれる

【気になるところ】

- 坂や段差が多いのでお年寄りなど大変
- 犬、猫のふんが多い
- 街灯が少ないので夜道が危険

\\ 皆さんも山手地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう! //

問1 花園中学校の平成20年度の体育大会のスローガンは「○・全力疾走」。○は何でしょうか？

- ① 心 ② 絆 ③ 愛

問2 児童文化館では、毎年プラネタリウムのキャラクターを募集しています。平成19年度は、プラネタリウムの冬の番組「太陽系一周ツアー」に登場する宇宙人キャラクターを募集し、443点の応募がありました。さて、その中から選考されたのは、何作品だったでしょうか？

- ① 3作品 ② 9作品 ③ 15作品

問3 目が見えない人や弱視の人に対するバリアフリーとして、横断歩道が青信号の時に、音で誘導するものがありますが、島瀬町の交差点を山手地区からアーケード街へと国道を横断する時に流れる音は何でしょうか？

- ① とおりゃんせ ② ピヨピヨ ③ カッコー

※答えはP8の下にあります。

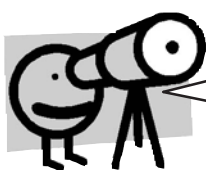


第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成20年3月8日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの意識が高い問題を選びました。
さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。
グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

ごみの分別の仕方が
悪い人がいる



【“みんなにできること”の意見】

- 分別方法をごみステーションに掲示し、意識の向上を図りましょう
- 月1回の町内清掃で意識啓発を図りましょう

参加した皆さんの感想から

- ◎いろいろな世代の人たちと話し合いながら、地域のことについて考えることができた。様々な視点があることに気づいた。
- ◎いろいろなアイデアが出されて、地域の力を高めるきっかけになった。この会を通して前進していければいいと思う。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、山手地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。

この“お茶の間トーク”での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！

